

2015 5/13

【第三種郵便】

「1億円減資」 シャープ断念 批判考慮、5億円に

シャープは1200億円以上ある資本金を1億円に減らす計画を断念する。資本金1億円以下は

「中小企業」とみなされるため、税制上の優遇措置を受けて収益回復などにつながる考えだった。大企業による異例の大幅減資への批判を考慮し、資本金は5億円にする。減資で累積損失を解消する方針は変えず、将来の復配などに備える。

シャープは14日に発表する再建策に資本金1億円への減資を盛り込む方針だった。資本金1億円以下の企業には法人税の軽減税率の適用や外形標

液晶、単独カンパニーに

シャープは10月をメドに実施する本社の組織改革で柱となる社内カンパニー制の概要を決めた。当初案では社内の事業を「液晶・電子デバイス」など4カンパニーに分ける計画だったが、液晶事業を単独でカンパニーにする。液晶パネルは連結売上高の3分の1程度を

準課税の不適用などの税制上の優遇措置がある。減資について、宮沢洋一で「企業再生としては違和感がある」と指摘した。経済産業相は12日の会見

前期単体は債務超過に
シャープが2015年3月期に単体で債務超過になったことが12日、明らかになった。前期の連結最終損益がテレビや液晶パネル事業などの不振で2000億円超の赤字になり、大半が単体の赤字額とみられる。東京証券取引所の上場基準で1部から2部へ降格になる連結での債務超過は免れた。